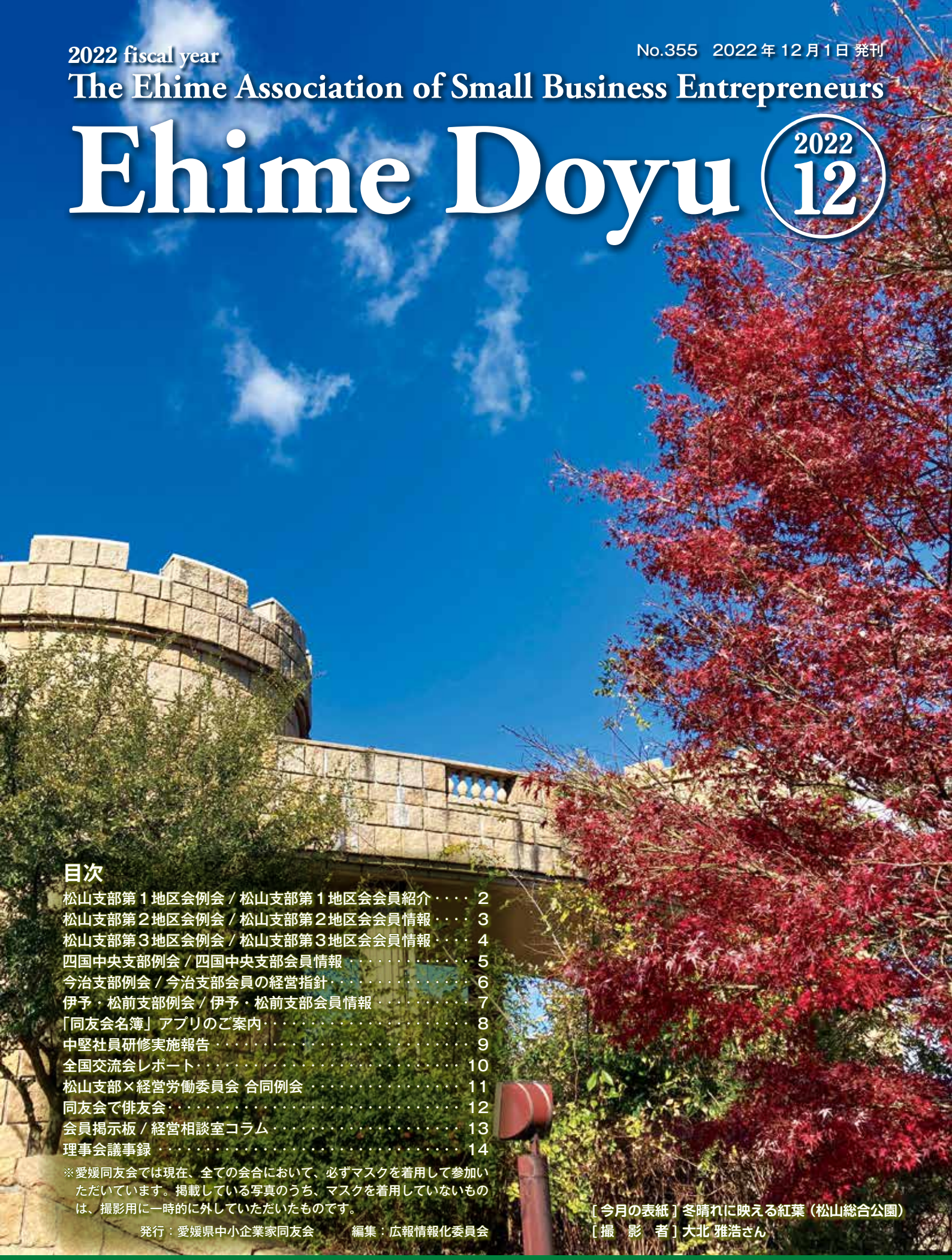
2022 fiscal year
No.355　2022年12月1日 発刊

The Ehime Association of Small Business Entrepreneurs

Ehime Doyu

2022 12



目次

松山支部第１地区会例会 / 松山支部第１地区会会員紹介 ・・・・ 2
松山支部第２地区会例会 / 松山支部第２地区会会員情報 ・・・・ 3
松山支部第３地区会例会 / 松山支部第３地区会会員情報 ・・・・ 4
四国中央支部例会 / 四国中央支部会員情報 ・・・・・・・・・・・・・・ 5
今治支部例会 / 今治支部会員の経営指針 ・・・・・・・・・・・・・・・ 6
伊予・松前支部例会 / 伊予・松前支部会員情報 ・・・・・・・・・・・ 7
「同友会名簿」アプリのご案内 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
中堅社員研修実施報告 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
全国交流会レポート ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
松山支部×経営労働委員会 合同例会 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
同友会で俳友会 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
会員掲示板 / 経営相談室コラム ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
理事会議事録 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14

※愛媛同友会では現在、全ての会合において、必ずマスクを着用して参加いただいています。掲載している写真のうち、マスクを着用していないものは、撮影用に一時的に外していただいたものです。

発行：愛媛県中小企業家同友会　　編集：広報情報化委員会

［今月の表紙］冬晴れに映える紅葉（松山総合公園）
［撮　影　者］大北 雅浩さん

愛媛県中小企業家同友会
〒790-0003　松山市三番町 1-11-10 ISSEI ビル 301　TEL (089) 948-9920　FAX (089) 948-9931　http://ehime.doyu.jp

松山支部第１地区会10月ハイブリッド例会

見い出せレーゾンでトール！

～ アウトサイドインの視点で ～

◆ 報告者：**大石 一浩** 氏
㈱ネッツトヨタ瀬戸内 モビリティー事業部 部長／愛媛同友会 松山支部第１地区会幹事
◆ 日　時：10月12日（水）18：30～21：00
◆ 会　場：二番町ホール・Zoom

大石さん

今回の例会報告のタイトルは座長の勝手な文字いじりをしています。大石さんの話を聞かせていただく中で、『レーゾンデートル（存在意義）を見出し、会社をより高みへ！』ということで触らせていただきました。そこは意味が分からない。。。というご意見もありましたが、例会の報告はさすが大石さん！といった感じでとても分かりやすく話してくださいました。

まず、会社の使命として『地域創生』を掲げており、同友会としても『強靭な地域づくり』を目指している視点。ここはそれぞれがマッチしている内容です。しかし、企業によって仕事の内容はマチマチなため出来ることも変わってくる。ネッツトヨタ瀬戸内でできることって何だろう？と考えた時に、時代の流れとしてよく耳に入ってくる『高齢者の事故多発』や、それに伴う『免許証の返納問題』。車に関連することだからこれはどうにかしないといけないのでは⁉自社だからできることってあるんじゃない？と気が付き実践に移すこととなる。

最初に取り掛かったのは、高齢者に対するヒアリング。そこで出てきたのは移動手段がない（駅やバス停までいくのが大変）ために外出を諦めていた人たち。日常生活で必要な通院や買い物ですら最小限に我慢している状態なので、友達に会ったり楽しみのための外出なんかもってのほか…。『こんな生活でいいの⁉』と腰を上げた大石さん。アウトサイド（地域）イン（事業）の視点により、『チョイソコ』のサービスを展開。価格帯はバス＜チョイソコ＜タクシー。設置した最寄りの停留所から地区内の停留所へ。

高齢者が外に出ることで、健康に歳を重ねられ、地域でお金を使ってくれる。素敵なサービス。

今回のタイトルである『レーゾンデートル（存在意義）』。各企業すでにそれがあるから会社として成り立っているのだろうが、裏を返せば時代の流れにより存在意義を失うこともでてくるかもしれない。過去・現在・未来の自社を見つめ、時代が求めていることに対して自社の得意な部分で勝負する。その繰り返しが自社のレーゾンデートルを高めて行ってくれるのではないであろうか。

今回の報告の大石さん、他地区からの参加、率先して学びに参加してくださった皆様。本当にありがとうございました！今後も同友会の仲間として高め合っていきましょう！

寄稿：平岡 裕矢さん
（NPO 法人家族支援フォーラム／松山支部第１地区会）

松山支部第１地区会会員紹介：有限会社 矢野商事　矢野 宏道さん

矢野さん

有限会社矢野商事で、矢野質店を経営する矢野宏道さんは、「花園まちづくりプロジェクト協議会」の理事長の顔もお持ちです。2017年に開催された国体の際、花園町の歩道空間拡大・景観整備工事がなされました。これを契機に、地域と行政が協力して花園町に賑わいを呼び込むプロジェクトが立ち上がりました。その理事長に矢野さんが就任したのです。

行政との折衝の中では、協議が難航して事業をなかなか前へ進められないこともあるそうです。そうした状況でも矢野さんは「辛い時ほど、どれだけ地道な努力ができるかが問われます。コツコツ真面目に取り組むことで展望は開けます」と前向きです。そうした矢野さんのリーダーシップにより、プロジェクトでは「お城下マルシェ」や「花園町ブライダル」など、様々な企画立案・運営を行い、松山市内外からたくさんの人々が花園町を訪れるようになりました。取材の最後に矢野さんは笑顔でおっしゃいました。「生まれ育った町の発展のためにこの仕事をやり遂げないと、安心して死ねませんよ」。

寄稿：髙橋 大輔さん
（ソニー生命保険㈱松山支社／松山支部第１地区会）

松山支部第２地区会10月ハイブリッド例会

私は今日まで生きてみました。時には誰かに助けられて。

◆ 報告者：**桑波田 健** 氏
岡田印刷㈱ 代表取締役／愛媛同友会 理事・松山支部支部長 松山支部第２地区会地区会長
◆ 日　時：10月24日（月）18：30～21：00
◆ 会　場：一番町ホール・Zoom

桑波田さん

松山支部第２地区会10月例会は、報告者に松山支部支部長 松山支部第２地区会地区会長 桑波田健さんを迎え、働き方改革の取り組みを中心に、同友会との関わりも合わせ報告いただきました。

引き継いだ会社が再生の道へと、少しずつ上向きに進んでいたさなか、同友会からの投げかけで、「働き方改革事業」に取り組まれました。その理由には、『企業理念を達成する』『お客様を満足させることが出来ない』『採用が難しくなる時代が来る』などが挙げられました。しかし、見事に、落第！してしまいます。なぜ落第してしまったのか？振り返ると、やりっぱなし・受け身・スタッフさんの理解が得られなかった などなどに気づかされました。

社内では、「今のままでよい」という雰囲気がある中、「このままでは終われない」と再挑戦。さらに、コロナ禍も経験し、ひとりも取り残さない宣言、をします。

再挑戦として、取り組んだのは、全社をあげて自主的に主体的に取り組む、最初は小さなことから取り組む、みんなの声を聞き反映する、DXの研究 などなど。その結果、社風が変化し、社内でビジョン・夢が描けるようになってきた、自分事として取り組む幹部が育成できたそうです。厳しい外部環境にもかかわらず、明るい未来を見ることができました。

管理職の皆さんが中心になって動き始めた数々の取り組みからは、「モヤモヤを出す・解決する」という共通言語が生まれました。さらに、職場の「心理的安全性」がキーワードだ、と実感されているとのこと。心理的安全性とは、上司の顔色をうかがっていたのに、聞く姿勢が身に付き、コミュニケーションを取ろうとする姿勢が大切と気づきました。

桑波田さんは、中小企業家同友会の理念 労使見解（①経営者の経営責任の確立　②経営指針の成文化とその全社的実践　③社員をもっとも信頼できるパートナーと考え、高い次元で団結し、共に育ちあう　④外部の改善に労使でチカラを合わせる）や、企業変革支援プログラム等のツールや、仲間達 特に、同友会の仲間達に支えられた、と報告しました。

桑波田さんには、働き方改革に取り組んだ背景に始まり、そこで得られた成果、同友会の良さも教えていただきました。ありがとうございました。

寄稿：辻内 秀明さん
（㈲つじうち／松山支部第２地区会）

松山支部第２地区会会員情報：岡本悠己中小企業診断士事務所　岡本 悠己さん

昨年12月に起業して、今年の８月に入会した岡本悠己さんの「岡本悠己中小企業診断士事務所」のシェアオフィスを先日訪問しました。

岡本さんは前職で会計事務所に勤務していた時に、多くの補助金受給の手続きを顧客の企業に代行してあげていたのですが、そういった補助金を多くの経営者が知らない、それを伝える人も少ないといった現状でした。

そのような情報を経営者さんに教え、有効に使える方法を一緒に考えようという想いが起業のきっかけだということです。

ものづくり補助金、事業再構築補助金、小規模事業者持続化補助金などの経済産業省が扱う補助金を得意とされているそうですが、他にも愛媛県や松山市が扱う補助金申請などもしているということで、何か自社で使える補助金がないかどうか、会員企業さんもまずは岡本さんに相談されてみてはいかがでしょうか。

（TEL：090-8058-0052
E-Mail：okamoto425@me.com
URL: https://okamoto-keiei.com/）

当初は顧客開拓にも苦労されていたようですが、少しずつ持ち込まれた案件をこなしていくうちに、大きな仕事もまかせてもらえるようになったということでした。

趣味は海外旅行でフランスには７回も行っているそうで、「将来は補助金の受給手続きだけではなく、日常会話くらいなら英語もできるのでそれを活かして、輸出業務の関連サポートのような仕事もやっていきたい」などと岡本さんは、この日多くの可能性や夢を語っていただきました。お忙しい中ありがとうございました。

寄稿：日野 啓介さん
（日野啓介社会保険労務士事務所／松山支部第２地区）

松山支部第３地区会10月ハイブリッド例会

利益を出し続ける企業＝「労使見解」の実践企業

～ 故・田山謙堂氏（元・中同協会長）例会動画から学ぶ「労使見解」～

【トークディスカッション】

◆ 報告者：**米田 順哉** 氏　NPO 法人家族支援フォーラム 理事長／愛媛同友会 代表理事
石原 公彦 氏　Keystone Bar 代表／愛媛同友会 松山支部第３地区会 幹事
川﨑 暁子 氏　㈱エルパティオ 代表取締役／愛媛同友会 松山支部第３地区会 副会長

◆ 日　時：10 月 18 日（火）18：30 ～ 21：00
◆ 会　場：二番町ホール・Zoom

故 田山謙堂さん

1975 年、戦後数十年余りに渡って、労使の紛争に悩まされてきた経営者の一部の人たちが、中小企業家同友会を立ち上げ、経営者としてのあるべき姿勢を問いかけ、労使関係の創造的発展こそ企業成長の原動力であることを述べたものが「労使見解」です。その骨子は、第１に経営者の経営姿勢の確立、第２に経営指針の成文化とその全社的実践、第３に社員とともに育ちあう教育（共に育つ）、第４に外部経営環境に労使が力を合わせるというものです。

今回この例会が一方通行的な講演ではなく、パネルディスカッション形式にして石原さん、川崎さんが米田さんに質問し、それを噛み砕いて説明して頂き、参加者の理解も深まったと感じています。

「経営姿勢の確立」とは、経営者として一番重要なのは、いかなる困難な状況があっても原因を他の所為にしたり、仕方がないと諦めないで、経営の維持と発展に全力を尽くして情熱を傾けるという姿勢が大切ということ。そして労働者の生活を保障するとともに、高い士気の下に労働者の自発性を発揮させる状況を作る、そうすることが従業員と会社との信頼関係を作り、正しい労使関係を樹立することができるというものです。

そして、「対等な労使関係」も謳っていますが、ここは経営者から異論があるところ。

何故なら経営者は資本も生産設備も一切を提供しており、全財産を投げ出しています。一方、労働者は体一つで働いている、これのどこが対等なのかと。しかし、近代的な労使関係という立場に立つなら、従業員と経営者は一定の契約に基づいて労働力を提供し、働くという契約関係である以上、対等ではないかと問いかけています。

とは言え、労使関係は「対等」で「パートナー」であるとした考え方は、当時も今もかなり衝撃的に受け止められています。理屈は理想だが実践は難しい。

11 月例会でも松山第３地区会は同じテーマで更に理解を深めます。みなさま是非ご参加ください。

寄稿：杉本 太一さん
（特別養護老人ホーム梅本の里／松山支部第３地区会）

（この文章の内容は松山支部第２地区会幹事の日野啓介さんの SNS のレポートから引用し、参考にさせて頂いています。）

松山支部第３地区会会員情報：社会福祉法人 松山紅梅会　野中 康志さん

松山支部第３地区会の 11 月の会員訪問は、車・バイク・自転車・料理など多趣味な社会福祉法人松山紅梅会 梅本の里のグループホーム計画作成担当の野中康志さんを訪問させていただきました。「嘘をつかない、ごまかさない」をモットーに、高齢者総合社会福祉事業に取り組まれています。

梅本の里では、他の介護施設にないような地域に根差した魅力的な取り組みをされています。デイサービスに託児所が併設され、お年寄りと子どもたちの声が響き合う「小梅」。特別養護老人ホームやデイサービスに、地域のみなさんも利用できるレストランや銭湯が併設された「いつもの」。すべての屋台が 100 円！打ち上花火も上がる！今や小野地域の祭りとして地域の人が毎年楽しみにしている「梅本の里 夏祭り」など、みなさんにも必ず１度は訪れてほしいと思う魅力溢れる取り組みです！そのような取り組みを通して、異業種や外部とのつながりが少ないという課題を抱えがちな介護業界の中でも、「ごちゃまぜ福祉」をテーマに地域にいるすべての人たちの力や役割を紡ぐ地域共生の取組を現実にされていっています。

左から中道昇さん、野中さん、鎌田大輔さん、中村剛さん

「地域の方が住み慣れた地域で、その人らしい生活を安心して最後まで続けていけるようにしたい」と熱く語っていただいた野中さんは、地域のイベントにも積極的に参加されています。「地域のイベントに参加するのも面白いですよ！」と満面の笑みで答えてくれました。その笑みの先に、地域の人たちとの顔の見える信頼のつながりがあることは容易に想像できました。そのような現状があっても、入会後すぐに地域共生委員会に参加し、学び続ける野中さん。そんな野中さんの学びの姿勢に刺激をもらうと共に、中小企業にとっての地域共生の重要性と可能性を感じる会員訪問になりました。

寄稿：重松 大介さん
（㈱ Future Select ／松山支部第３地区会）

※こちらから動画をご覧いただけます。

四国中央支部10月ハイブリッド例会

納得して納税できる財務形成

～ 現役税理士がコッソリ教える税務調査の実態 ～

◆ 報告者：**越智 聖** 氏
越智聖税理士事務所 税理士／愛媛同友会 四国中央支部会員
◆ 日　時：10月19日（水）18：30～21：00
◆ 会　場：しこちゅ～ホール・Zoom

会場の様子

四国中央支部10月の例会は越智税理士事務所の越智さんでした。今回のテーマ「納得して納税できる財務形成」でしたが、私も税金について全く無頓着な人間であったため、今回座長をするにあたり税についての勉強にも興味がわきました。報告の内容で、聞きなれない用語がとても多く事前の打ち合わせでも越智さんに質問ばかりでした。その中でも普段私たちが知らない情報であったり、正しい税の納め方であったり、税務調査が来た時の対応など普段教えてくれない知識を知ることができました。特に「この役職の方が来られた時は気を付けてくださいね」などプチアドバイス的なお話もあり、皆さんもこの役職の方が来られた時は気をつけようね。など少し笑いも入れながらの例会でした。後、修繕費の考え方のアドバイスもいただき、実際に会社でもそうしてみようという声も出ていました。

越智さん（左）と座長の菅さん

税金はどの会社、どの個人にもかかわってくることだと思います。その税金により経済を支えているのは間違いないことだと再度考えさせられました。正しい税の納め方を知ることにより、自分たち、または周りにも迷惑をかけない事こそ健全な会社経営だと感じます。今現代政治にも興味を持つ若い世代の方も増えています。私たちの納めている税金でこの国が良くなるようしっかりと知識を付け社会に貢献できるよう取り組みたいものです。まだまだ知らない税金の知識はあると思いますので、その時は是非今回の報告者である越智さんにどんどん聞いてみましょう。越智さんも遠慮なく聞いてくださいとのことでした！

今の日本は不況と言われる中で、知識を付けてより良い会社がたくさんできれば、また社員さんも満足できる世の中になると思います。そのためにも皆さんで知識を共有しあうことの大切さを伝えていければと思います。

寄稿：菅 好裕さん
（ネッツトヨタ瀬戸内（株）めんどり店／四国中央支部）

四国中央支部会員情報：株式会社 美寿寿　長野 禎毅さん

四国中央支部の元支部長である「ギフトショップみすず」の長野さんが､約1年半前に洋菓子とワインの｢シャトレーゼ｣にフランチャイズ加盟し、新居浜東店をオープン。経緯と現状を副支部長の合田が聞いてきました。

店舗の外観

ギフト店の頼みの綱は冠婚葬祭、中でも結婚式が大商いのチャンス。ギフト業界として、将来を考えると、少子晩婚化は非常に頭の痛い問題。今後の展開を10年以上悩み、模索してきたそうで、5年ほど前に、徳島県中小企業家同友会の勉強会で仲間に、今すぐ行動しなければと背中を押されて行動に移しました。友人が埼玉県でシャトレーゼを経営しているそうで、現地で視察して、色々教えてもらい、これなら「行ける」とピンと来たようです。

その準備、研修などしている時に、新型コロナが日本に上陸し、更に冠婚葬祭のギフトの需要が落ちました。ギフト店は店舗の統廃合と、本店の三分の二を賃貸に出し、縮小し、洋菓子とワインのシャトレーゼの経営リソース傾注。

私が訪問したのは夕方で、入店すると、奥様を始め、若い女性スタッフ中心にテキパキと接客。気持ちよく迎えて頂きました。奥の部屋での取材が終わり、店舗に戻ると、老若男女のお客様がいっぱいで繁盛している。私の妻も娘が山梨の大学に行っている事もあり、シャトレーゼの大ファンで、ラインで○○を買って来いとの指令。ついでに、蔵出しの生ワインも買って、帰路につきました。　寄稿：合田 夏樹さん
（㈱スズキ販売四国中央／四国中央支部）

店内で接客する長野さん

今治支部10月例会

「Shinya came back」

～ 死に直面して見えた本当に大事なもの ～

◆ 報告者：**渡部 伸哉** 氏
㈲三和興産 代表取締役／愛媛同友会 副代表理事・今治支部幹事
◆ 日　時：10 月 17 日（月）18：30 ～ 21：00
◆ 会　場：テクスポート今治

今治支部 10 月例会は、突然のくも膜下出血に倒れるも一命を取り止め、しかも後遺症を残すことなく奇跡的に快復された渡部さんに報告発表をいただきました。

思いもよらぬ突然の病からの復帰を通じ、人とのつながりや今現在を大切にする気持ちが一層強くなられたそうです。そういう観点からその経験の思いの丈をリアルに伝えたいということで、会場出席限定でのリアル例会開催となりました。くも膜下出血を患った時に偶然参加していたズーム会議の実際の映像とその時の生々しい話を自分の身に置き換えて考えさせられる実体験に基づく例会報告でありました。

座長の松田泰幸さんと渡部さん（右）

今回のことで渡部さん自身死を覚悟した瞬間があり、その時に真っ先に頭に浮かんだのは家族と社員の方々のことだったそうです。家族と同様に社員の方々の生活は大切で守るべきものとしての意識がとても強いことがわかります。

渡部さんは同友会での学びを通じてこの 14 年間欠かさず経営指針書を作成更新し続けておられます。さらに経営指針書を作成するだけではなく社員間で共有している自負もあったそうです。しかしながら今回の突然のリーダーの不在に会社が混乱する場面が思いがけずあったそうです。そこで「経営指針書の作成更新及び社員間での共有」からもう一歩踏み込んで「経営指針書の社員間での共有から共感』への進化を目指すことを次なる目標とされているそうです。また「可能な限りの社員への権限移譲とその人材の育成」も急務であるともおっしゃっていました。どんな困難な経験もそれで終わりではなく次なるステップへの糧とする姿勢には頭の下がる思いです。

今回の例会報告で決して会社を支配するのではなく社員の方々や地域の方々に謙虚に誠意をもって接し、細く弱くはあっても長く社会と関わっていきたいと私自身思いました。健康に気を付け、まずは自分と自分の周りの人たちの幸せを願って。

有意義な優しさ溢れる時間を下さった渡部さん、本当にありがとうございました。

寄稿：阿部 友広さん
（阿部建設／今治支部）

支部を超えて大勢が駆け付けました

今治支部会員の経営指針　有限会社 周桑電機工業所　杉原 一史さん

支部幹事の宇佐裕次さんと２名で今治支部長の杉原さんが経営される㈲周桑電機工業所に企業訪問させて頂きました。日中の訪問ということもあって社員さんの働く姿も見られるかな？と期待していたのですが、あいにく前日の夜勤明けということでお休みされておりました。

渡部さんと杉原さん（右）

杉原さんは入会されてから経営指針を成文化されておりますが、継続して更新しておらず、今まさに新たな経営理念を元に現状に見合った指針成文化の真っ最中とのことでした。

現在の経営状況は可もなく不可もなくといった状況で、安定的な下請けの仕事をゆっくりと成長させていっているとのことでした。その後、３人で後継者問題についての論議となりましたが、杉原さんご自身からは今の時代だからこそ考えられる会社の存続の仕方について語っていただきました。具体的な話も踏まえいろんな選択肢がある中から最良の形で会社が存続していけることは大切なことだと共感をいたしました。

一つだけ課題を提言させていただくとすれば、少し事務所の整理整頓をされたほうがいいのかな？と…（笑）

寄稿：渡部 伸哉さん
（㈲三和興産／今治支部）

伊予・松前支部10月ハイブリッド例会

“共に学び”“未来を語れる”パートナーはいますか？

～ 経営者と社員が真剣に語り、築きあげた信頼関係 ～

◆ 報告者：**黒川 洋輔** 氏
㈲キャンパス 取締役／愛媛同友会 今治支部会員
◆ 日　時：10月21日（金）18：30～21：00
◆ 会　場：二番町ホール・Zoom

有限会社キャンパスさんは高齢者福祉と障がい者福祉の事業所を東予で８ヶ所運営。各事業所で運営理念と事業所指針を作成し、共有されています。

黒川さんは９年前に週１回のバイトとしてキャンパスと関わり、その後入社。自分で訪問看護事業をしたいと思っており、キャンパスにも３年ほどの在籍と考えていたそうですが、その考えも変わります。きっかけは入社時に宇佐裕次社長との対話。漫画 Dr. コトーのようになりたいと語る黒川さんの話を真剣に聞く宇佐さん。それが信頼の第一歩だったと黒川さんは語ります。そこから責任者として働きながら、訪問看護や業界、会社の未来の話をするうちに楽しくなり、ここなら Dr. コトーをめざせると思うようになったそうです。

座長の堀内章さんと黒川さん（右）

不安もあると言いますが、その都度、相談したり、仲間と一緒に進めたり、任せ続けてもらえる中で信頼してもらっている、経験から得られるものもあり、「パートナーになる環境を作ってくれた」と感じているそうです。お互いをよく知る事が大事で、相手はもちろん、自身も知ってもらう“自己開示”が必要だと言われました。

２月に取締役となった黒川さん、各事業所で「法人版 Dr. コトーをめざす」という思いを伝え、「あなたの想いの実現を応援します」という新しい理念を掲げました。宇佐さんとの関係づくりを今度は社員さんとの関係づくりにつなげていかれる黒川さん。指針や理念を通じて社員さんと未来について話し合うキャンパスさんの社内風土は大変うらやましく思いました。

黒川さん、たくさんの刺激をいただいたお話、本当にありがとうございました。

寄稿：武田 正輝さん
（恭栄自動車㈱／伊予・松前支部）

会場の様子

伊予・松前支部会員情報：有限会社 遠藤青汁　中井 英明さん

〝自然のままをすなおに頂く〟栄養と美味しさにこだわった遠藤青汁の宅配事業をされている㈲遠藤青汁 取締役社長中井英明さんを訪問してきました。

左から今村暢秀さん、中井さん、社員で娘さんの和田瑛さん、影浦さん

遠藤青汁の立ち上げから関わってこられた縁で事業を引き継がれて10年、ご自身も青汁を飲むことで病気が良くなったそうです。お客様の中には毎日１リットル飲まれる奇病難病を患っていらっしゃる方や、癌予防に飲まれるお客様も多いと伺いました。

自社店舗に於いては原料となるケールは、栄養価の高い原種だけを使用しているため商品の増産は簡単ではなく、現在は農商工の連携に力を入れて、オリジナルの加工食品やケールを使った新たな商品の開発をおこなっておられます。

中井さんご自身は、近いうちに親族に事業を承継し、農薬や化学肥料を使わない自然栽培で農作物を作りたいとこれからの夢を楽しそうに語っておられました。皆様、ぜひ健康維持のために遠藤青汁はいかがでしょうか。

寄稿：影浦 一夫さん
（㈱リーサン／伊予・松前支部）

愛媛同友会『会員名簿』アプリ 活用のお願い

愛媛県中小企業家同友会では会員同士のコミュニケーションを促すとともに会の活性化を目指し、「会員名簿アプリ」を導入しました。ぜひインストールしていただき、積極的にご活用をお願いします。（スマホ・タブレット・パソコン端末）
今後、会内の公式の連絡の遣り取りは名簿アプリに集約していきたいと考えております。

愛媛県中小企業家同友会「会員名簿アプリ」の機能

- 名簿閲覧 検索
- 個人・グループ チャット
- スケジュール (e.doyu)
- 無料 電話

簡単インストール！　スマホ・タブレット・パソコン端末から！

iOS iPhone
App Store からダウンロード

Android
Google Play で手に入れよう

PC 版（ブラウザ）
https://web.doyumeibo.jp/#/

初回のログインに、e.doyu と同様の ID とパスワードの入力が必要です。お分かりにならない場合は事務局までお問い合わせください。

マニュアルダウンロードはこちらのURLページの一番下から。
http://ehime.doyu.jp/news/details/detail.php?news=778

もしくは
こちらの QR コードを読み込みますと**マニュアルのダウンロードが始まります。**

名簿アプリの**使い方勉強会動画**はこちら

お問い合わせ　愛媛県中小企業家同友会 事務局　TEL 089-948-9920　E-mail info@ehime.doyu.jp

【2022 年度　中堅社員研修】実施報告

皆さん、こんにちは！「中堅社員研修」を７月５日から８月２日までの４回に分けて、同友会らしい経営の本質を学び合う研修を行いました。（参加者９社 20 名）

◆概要　『中堅社員研修：－ 目的・カリキュラム －』
【第１講】中堅社員の役割を学ぶ
7/5㈫　杉本氏（特別養護老人ホーム 梅本の里）
【第２講】役割を果たすために必要なスキルを学ぶ
7/11㈪　鈴木氏（㈱ハート）
【第３講】「経営者と社員はパートナー」であることを学ぶ
7/27㈬　黒川氏（㈲キャンパス）
【第４講】「パートナーとなれる資格」とは何かを学ぶ
8/2㈫　馬場氏（㈱フェローシステム）

各講義のコーディネーターは、パートナーシップ経営の玉井和幸氏にお願いし、報告のあとグループワーク、ディスカッションで学びを深めていきました。中堅社員が先輩（報告者）から、どうすれば良いかのヒントを貰い、ご自身で考えて行く研修を行いました。

熱心に学び合う受講生の皆さん

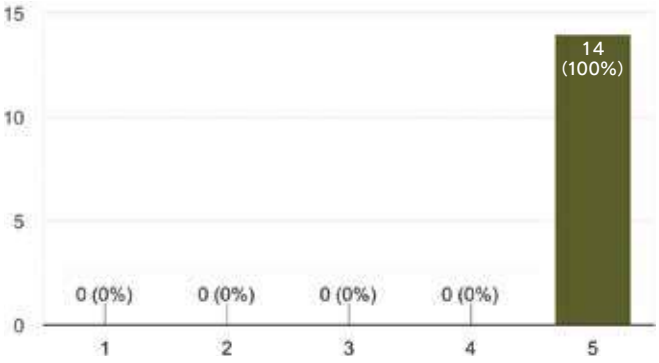
◆さて、みなさんの会社の社員さんは育っていますか？社員さんが育たないと企業の成長発展はありません。今回の中堅社員研修は、経営者とパートナーの関係を築かれている各企業の幹部社員さんに報告して頂きました。 報告者の方は、最初は一般社員からスタートされ、いろいろな経験を積みながら社内での信頼を得ることや、必要なスキルを身につけ、どのようにして社内で重要な役割を果たすようになったのか、経営者との関係がつくられたのか等の実践報告をしてもらいました。参加した社員さんにとっても、また参加企業の経営者にとっても学びの多い研修になりました。これからも同友会らしい質の高い研修を企画していきます。皆さん有難う御座いました。

◆最後に受講生からアンケート内容を抜粋しました。
◎経営者のパートナーとして実際に活躍している方の、生の発表をお聞きできたのは非常に良い経験になりました。
◎代表の方だけでなく、グループの方たちの話がとても勉強になりました。このような機会に参加ができて良かったと思います。
◎発表形式がとても分かりやすかったです！
◎経営者もたくさんの気づき、学びがあり、次回は社員と共に参加したいです。
◎今回、このような機会に参加出来た事をとてもうれしく思います。会社に戻り、今回一緒に参加したメンバーと理事長と熱い討論をしたいと思います。
◎経営者とパートナーとしての意識の持ち方を全く考えていなかったので、その在り方や意識を持つことが出来ました。
◎初参加で大変緊張しましたが、とても素敵な時間でした。
◎経営者と社員で共に学べる機会になり良かったです。
◎会社のことを考えるのはもちろんのこと、自分自身を振り返るきっかけになりました。
◎４名の幹部社員さん実体験の報告。経営者と一緒に良い会社づくりに取組まれた内容で、非常に参考になりました。玉井先生に、そこを上手く引き出して頂きました。
◎皆様のお話を聞き考えていく中で、自身の現状と、なりたい状態のギャップがあまりにも大きいことを再認識しました。一緒に参加した社長と幹部社員と帰ってから、一緒に今後の事について話し合ってみます。

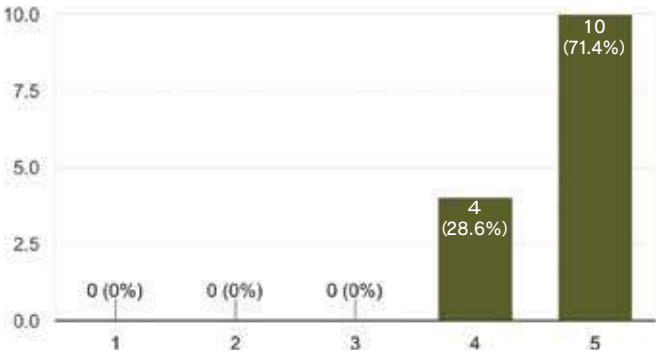
などなど…感想を頂きました。有難う御座いました。

寄稿：堀内 章さん
（求人教育委員会）

今回の研修は為になりましたか？　14 件の回答



今回の研修はわかりやすかったですか？　14 件の回答



人を生かす経営全国交流会 in とくしま　参加者レポート

各地同友会と中同協から約 300 名が参加！

10 月 20 日・21 日に開催された「人を生かす経営全国交流会 in とくしま」に、愛媛同友会から 11 名で参加してきました。この急激な変化の中で、同友会らしい企業づくりの基礎となる「労使見解」の実践を通して企業を変革する必要にせまられてます。

中同協副会長の加藤明彦さんの問題提起「企業経営を通して、より良い社会を実現するために」では、委員会が労使見解を深く理解し、実践につなげる取り組み（企業変革支援プログラム ver.2 も刊行開始！）を通して、人生の豊かさを実感するための共育を行い、働きやすい働きがいのある企業づくりをしようと呼びかけがありました。労使見解の生みの親のお一人でもある中同協会長も務められた故：田山謙堂さんを偲び、県をあげて労使見解と向き合おうと、まず松山支部第３地区会が 10 月と 11 月と２か月に渡り「労使見解」をテーマにしたタイミングとピタリと合いました。このあとの他支部他地区の例会や勉強会において、参加者からこの問題提起を共有することで更に理解が深まることでしょう。

次に実践報告として、広島同友会日鐵鉱業㈱の能登伸一さんと徳島同友会㈱シケンの島隆寛さん（２月に開催する愛媛同友会経営フォーラムの分科会報告者）が登壇されました。

グループ討論テーマ『激しい社会の中、経営を維持発展させていくためどのような企業づくりが求められますか？』で各グループで熱のこもった討論が繰り広げられました。

２日目は、パネルディスカッション『経営指針をもとに課題を捉え、「人を生かす経営の総合実践」を！』をテーマに中同協の経営労働委員会、共同求人委員会、社員教育委員会、障害者問題委員会の各委員長が登壇。

４委員会が揃って作り上げた企業変革支援プログラム ver.2 に労使見解の実践に必要なことがすべて盛り込まれています。これを活用し経営指針の実践につなげることは必須でもあるし、会員増強の観点においても、このプログラムを紹介することで、同友会で何を学び実践しようとしているかが明確になるなど意見が交わされました。

そして、このディスカッション後２日目もグループ討論が設定されており、『人を生かす経営の総合実践を広げるために、どのように運動を展開していきますか？』

会場が熱気で包まれる討論のあと、愛媛同友会の㈱フェローシステムの中田琢磨さんが、次のようにグループ発表されました！

「人を生かす経営の実践そして、同友会の３つの目的の実践には、４委員会単独の活動（点）ではなく、連携（線）していくことが大切だと感じた。①全国行事に一人でも多くの方に参加していただき多くの気付きを得ていただくこと　②各県でも４委員会の連携を強化すること　③企業変革支援プログラムを活用した運動をすることが４委員会の横軸の活動につながること　が、３つの気付きでした」

「労使見解の聖地：徳島」に足を運び、県外の仲間たちと２日にわたる熱く深い学びをしてきました。

寄稿：中道 昇さん
（㈲モンド／松山支部第３地区会）

松山支部×経営労働委員会　合同９月ハイブリッド例会

オーガニックが当たり前の未来に

～ 成文化セミナーで明確になった、これからの10年 ～

◆ 講　師：**首藤 元嘉** 氏
㈱維里 代表取締役／愛媛同友会 元会員
◆ 日　時：９月 13 日（火）18：30 ～ 21：00
◆ 会　場：二番町ホール・Zoom

「同友会で人生が変わった。移住を語る上で同友会は外せない」。
首藤さんの報告の中で記憶に残る言葉でした。

首藤さんは、経営指針成文化セミナーに参加したいという熱い思いで愛媛同友会に入会しました。そして、成文化がきっかけで愛媛県西条市の先祖代々、12 代に渡って農業を営んできた土地を離れ、今年の春に山口県長門市に移住をしました。経営指針成文化セミナーを通して、経営指針を作成することが移住をも決断するほどの強いエネルギーになるということが伝わってきました。

「オーガニックが当たり前の未来を目指して」

オーガニックが当たり前になるために必要な生産量を確保するためにオーガニック農業ができるこの地に移住しました。「なぜオーガニックなのか？」というとそのきっかけは、首藤さんのお父様が農薬が原因で体調不良になったり、奥様が美容業の仕事で薬剤によるアレルギーがでたりしたからだそうです。自身の家族の体験、成文化セミナーを通して作られた理念がこちらです。「私達は、農業を通じて、食と暮らしを整えることを理念とし、オーガニックが当たり前の未来を目指しています」。この志高い理念が共感を呼び、事業が成長する原動力になると思いました。

最後に座長の私のまとめです。「強い会社が生き残るのではなく、生き残る会社が強い」それは、変化に対応できる会社であることです。変えていいものと、変えてはいけないものに気づくことが経営指針を成文化することだと思います。先日お亡くなりになった京セラ創業者の稲盛和夫氏も「志」を自問していました。経営環境が劇的に変化しているいま、「志」が経営者に投げかけられている問いの答えでもあるのではないでしょうか。首藤さんのこの志をこれからも応援したいと思います。

寄稿：山本 康弘さん
（㈱日の出都市開発／松山支部第１地区会）

首藤さん（左）と奥様の陽子さん

二幸送風機株式会社
REALIZE TWO HAPPINESS
私達は、「風の匠」として、常にファン技術の可能性に挑戦し、
社員の希望とお客様の感動のふたつの幸せを実現できる会社創りをめざします。
本社・工場　〒791-8022　089-925-6401
愛媛県松山市美沢二丁目3-7　089-925-6259
社員、顧客のふたつの幸せを実現する企業を目指して　http://www.nikofan.com/

こだわりのじゃこ天
しののめ 東雲かまぼこ
無添加じゃこてん
その一、
宇和海・瀬戸の新鮮な魚を使用
その二、
添加物を使用していません。無添加！
その三、
天然岩塩使用
〒 790-0004
愛媛県松山市大街道 3 丁目 7-4
（松山城ロープウェイ乗り場斜め前）
TEL・FAX：089-935-8622
HP アドレス：http://umajaco.jp

同友会で俳友会

十二月になりました。気ぜわしい時期ですが、一息入れて俳句を作ってみませんか。年末の季語は沢山ありますよ。

◆最優秀賞

ババ抜きの流れ止めたり除夜の鐘

大北 雅浩さん（愛媛同友会事務局）

大晦日に一家そろってババ抜きに興じています。賑やかな団らんのひと時、外から除夜の鐘が聞こえてきました。カードを引く手を止めて鐘の音に聞き入ります。大晦日の独特の雰囲気が伝わってきます。

◇特別賞（おなか一杯で賞）

手にあまる腹にもあまる大大根

大野 智加子さん（㈱コピー愛媛　元社員）

手に余るほどの大きな大根を収穫しました。炊いた大根の量も半端ではありません。「腹にもあまる」との措辞が愉快です。

◇特別賞（年賀状は大変で賞）

年一の話題探して賀状書く

武田 正輝さん（恭栄自動車㈱）

中七下五の「話題探して賀状書く」との表現が的確で、年賀状に何を書こうか思案している様子が伝わってきます。年賀状を書く相手によって、上五をいろいろな表現に入れ替えることもできそうですね。

◇特別賞（よだれが出るで賞）

熱燗と相性抜群ずわい蟹

石川 義和さん（㈲石川工作所）

よだれの出そうな作品で、早く帰って晩酌したくなります。「熱燗」も季語で季重なりの俳句ですが、作者の意図からこの言葉を外すことはできないでしょう。ずわい蟹を主たる季語とするために中七を工夫して、堂々と季重なりの俳句と宣言してしまいましょう。

（例）熱燗と皿に溢るるずわい蟹

◇特別賞（母への愛で賞）

賀状書く母のペン先ふるえてる

津田 由香さん（津田雅士会員の奥様）

プリンターで印刷する年賀状が増える中、母は毎年丁寧に自筆で書いています。年齢のせいかペン先が震えています。そんな母の様子を見ている子の優しさが伝わってきます。

◇特別賞（一杯ひっかけてきたで賞）

除夜の鐘かすかににおうアルコール

津田 雅士さん（㈱SANPUKUフューチャー）

一杯ひっかけてから、除夜の鐘を突く撞きにきた光景でしょうか。煩悩を払って、くる年が素敵な年でありますように。

一月号 兼題

「正月」「初日の出」「初詣」

「数の子」「七草粥」

二月号 兼題

「春近し」「冬三日月（ふゆみかづき）」「霜焼（しもやけ）」

「寒鴉（かんがらす）（かんあ）」「梅」

1月 投句QR　締切12月9日

2月 投句QR　締切1月15日

いずれの兼題で投句下さっても構いません。また、兼題に拘らず自由に詠んでいただいても構いません。

講評：髙橋 大輔さん（広報情報化委員）

木藤 容子さん

最優秀賞の大北雅浩さんには、表彰状と㈱安心堂西条営業所（木藤容子さん：今治支部）のステキな賞品を差し上げます。

防災食です。全て5年保存します。非常時でも直ぐに、そのまま食べられるものがあると安心です。また、普段から食べ慣れて味を知っておくことも大事ですので、「今日は防災の日」という日をつくって保存食を食べてみてくださいね。

URL：https://anshindo-saijo-k.com/

ICT の知識や技術を活用し、お客様の夢をかなえます。
WEB サイト制作・運用・保守
セキュリティ運用・関連商品導入
システム開発・サーバ構築
ネットワークインフラ構築・電話設備
各種機器販売
株式会社ディースピリット
〒791-1102 愛媛県松山市来住町 1430 番地 1
TEL：089-948-4100　FAX:089-948-4101

Wonderful Communication
www.e-itoman.jp
For Wonderful Life
Itoman

新入会員のご紹介【1名】（10月15日～11月15日）・会員掲示板

山﨑 晃広さん（やまさき　あきひろ）

四国中央支部
㈱ヤマサキ電機　代表取締役
産業設備の電気工事、設計、制御
〒799-0431　四国中央市寒川町 4322-1
ＴＥＬ：0896-22-3112　ＦＡＸ：0896-22-3113
紹介者：㈱かがやき総合保険企画　森田 文子

○会員情報変更

新会員名：吉田裕美
役　　職：代表取締役
企 業 名：愛媛故繊維再生㈱
支　　部：松山支部第２地区会

“平成の赤ひげ”の経営相談室からアドバイス

人を育てない経営者に成功なし

秋川会計事務所㈱取締役
愛媛同友会　経営相談室長
秋川保親 氏

風船を膨らませるには、空気を吹き込まなくてはならない。同じように、会社を発展・拡充するには、人材を育成しなくてはならない。人を育てないで、数字だけ追いかけていては、経営の成功はおぼつかない。社長は何よりも社員の成長を最優先に考えなくてはならない。

しかし、とかく目先の業績や数字に目を奪われ、刹那的な対策に追われがちです。その結果、「人を育てる」という長期的な使命を忘れてしまう。それでは、会社の持続的な発展はとても期待できない。いい製品やサービスは、いい人材によって生み出されるのです。

松下電器の創業期社員は二十八名でしたが、それほど優秀な者だけではなかった。それでもゼロから出発した松下電器は、七十年間で売上高七兆円の世界的企業にまで成長したのです。単純計算すると、毎年、売上高一千億円の会社を七十年間続けてきたことになる。どうしてこのような成長を実現できたのか。その答えを松下幸之助さん自身は一言で語っています。「松下電器は、電気製品を造る前に人をつくるのです」と。その特徴は「根気」に尽きる。これが世界的な松下電器を育てた原因だと言います。

経営者は松下さんの心を確りと受け止め実践していきましょう。

2022年度 愛媛同友会　第６回理事会 議事録

【日時】2022年10月27日（木）18：30～20：30　【会場】二番町ホール・Zoom
【出席】理事23名　委任６通　事務局員２名　【議長】今村 暢秀　【議事録】大北 雅浩

出席数・委任数の確認について …… 事務局

開会挨拶：田中 正志

承認事項

下記の議題について提案・意見交換を行ない、承認しました。

（１）入退会承認

（２）愛媛同友会第39回定時総会の会場について

メルパルクの閉館に伴い、「地元・愛媛の会場」に主眼を置いて新たな会場の選考を行ない、「ホテル葛城」を会場として準備を進める。

（３）大北雅浩・組織担当責任者の事務局長就任について

（４）新事務局員の採用について

元・広島同友会事務局員である竹河内博之氏を採用する。

報告事項

（１）第11回経営フォーラムの進捗について

記念講演と各分科会の報告者との打合せがスタート。開催形態については、ハイブリッドはナシ。リアルを基本として、新型コロナの影響でリアルができない場合はオンラインとする。

（２）正副代表理事会議、各支部・委員会等からの報告

①経営労働委員会：経営指針成文化セミナー開講。３年ぶりの理念合宿開催
②求人教育委員会：松山大学ミューズとのＢＢＱ開催
③広報情報化委員会：1吟行句会ライブの参加者募集
2会報誌１月号は首長挨拶を掲載するスペースの関係で「支部情報コーナー」は休載
④政策委員会：1新型コロナ施策に関する政策提言の進捗
2景況調査（7-9月期）の結果について。記者発表に愛媛新聞と読売新聞が参加
⑤環境経営委員会：中同協同友エコアンケートへの協力依頼 e.doyu「NEWアンケート」から回答下さい。
⑥キャリア教育委員会：松山市教育委員会と連携しての講師派遣スタート
⑦事務局の働き方の現状について
例会準備に関するお願い
1出欠連絡の事務局との情報共有をお願いします！
2グループ編成にスプレッドシートをご活用ください！

（３）全国・他団体行事について

①「人を生かす経営全国交流会 in とくしま」参加者からの感想共有
② 11/17、「四国ブロック役員・支部長交流会 in 高知『あしたの役員交流会』」の参加呼び掛け

（４）2022年度方針の総括レーダーチャートの提出状況

11月の理事会で一次集計結果を発表する。未提出の人は早急に事務局へ提出を。

協議事項

●新理事の皆さんから「今の愛媛同友会、理事会、支部・地区会、委員会をどう感じていますか？どうしていきたい、どんなことをしていきたいですか？」を発表（川﨑暁子、山本康弘、辻内秀明、好永隆之、山崎剛の各理事からご発言いただいた。）

・「理事になると、一会員だった時より学びが深くなったと実感する。その反面、夜の時間帯の会合に参加する機会が多く、業務と家庭とのバランスが難しいと感じている」
・「自社で経営者の孤独を感じる時、理事会で相談できる仲間が増えて嬉しく感じている。今後、次世代経営者委員会を活性化させ、ここを入り口として愛媛同友期の仲間が増えるような仕組みを作っていきたい」
・「同友会でどう学ぶかであったり、同友会の進むべき方向であったりを、自分事として感じられるようになった」

●グループ討論

（１）目的：新理事の皆さんの意見を聞いて、これからの愛媛同友会を語ろう

（２）グループ討論：愛媛同友会について自分が感じていること、やりたいことについて

（３）グループ発表

○「同友会の仲間の“おせっかい”に甘えられる関係をつくっていきたい」
○「理事全員が少なくとも年に１回は全国大会に参加しよう。愛媛だけでなく、全国の経営者と交流を」
○「次世代経営者委員会に加えて、シニア世代の委員会など新しい仕組みを作って意見交換してはどうか」
○「愛媛同友会の風土が硬直化しないよう、若い会員さんを応援していきたい」

閉会挨拶：渡部 伸哉

究極の挑戦者

麺屋十銭

昔ながらの尾道中華そば

〒790-0004　愛媛県松山市大街道２丁目３－１５
携帯　０９０－１１７０－１８６０

ALTERATION & CLEANERS

清水屋クリーニング

私たちが考える良いワイシャツとは、
エリが綺麗なこと。
着心地がしなやかでハリがあること。
清潔でいられること。

E-mail shimizu@infomadonna.ne.jp
〒790-0053 愛媛県松山市竹原４丁目 8-47
TEL 089-941-7388
FAX 089-947-2833

矢野質店

有限会社矢野商事（矢野質店）

住所:松山市花園町2番地3　電話:089-941-4044

Issei Group
いっせいグループ
グループ店

愛彩館
愛大附属病院内
089-955-2008

haco.
朝生田店
089-935-8558

旬空港通り
089-968-6836

夢にえがお

嫁の蔵
HIMENOKURA
089-947-6817

奇跡のトリカワ横丁
平和通り　089-994-6656

宮田町
089-933-6716

弁護士法人 たいよう

四国の躍進は地域企業と法律家の連携で

愛媛県弁護士会所属　代表弁護士／吉村紀行

愛媛県　松山事務所　☎089-907-5601
愛媛県　大洲事務所　☎0893-59-0353

リース車両メンテから、愛車の「困った」、点検まで

トータル・カーメンテナンス
恭栄自動車株式会社

松山市空港通1丁目8-2 〒790-0054
TEL 089-972-1228(代)
FAX 089-971-4419

保険調剤・ヘルスケア

平野薬局グループ

株式会社　平　野

〒794-0028　今治市北宝来町2丁目2-22
TEL　(0898) 32 - 0255
FAX　(0898) 32 - 0350

税理士法人
asitao
（あしたお）

― 明日を拓くパートナー ―

安部　真 ／ 井上　徳之 ／ 近藤　壮 ／ 十河　篤史

〒790-0066　愛媛県松山市宮田町 186 番地４　松山駅前ビル２F
TEL：089-948-8294　FAX：089-948-8296

企業の未来を築くのは、人

人事を核としたトータルな経営支援サービスを通じ
職場の安心（労務管理）と企業の未来を支えます

社会保険労務士法人　横本事務所

〒791－3120　愛媛県伊予郡松前町 1350-6
TEL　089-984-2078　FAX　089-984-8533
URL　http://www.humanity.co.jp

～人の一生を支えられる企業になりたい～

社団法人　日本義肢協会会員
＝義肢・補装具・車椅子・補助杖・その他福祉関連商品＝

有限会社　オルソ本田

オルソ本田
ORTHO HONDA

〒７９０－０９４７
松山市市坪南丁目４番２４号
ＴＥＬ（０８９）９５８－６６１７
ＦＡＸ（０８９）９５８－６６４１
E-mail:ortho@abelia.ocn.ne.jp
http://ortho-honda.com/

消防・防災の専門商社
株式会社 岩本商会

災害に強いまちづくりをお手伝いします

本社　松山市大手町一丁目 10 番地 1
TEL089-947-2111　FAX089-947-2116
高松支店/宇和島営業所/姫原倉庫
https://www.iwamotosyoukai.co.jp

お住まい相談員って何をしてくれるの？
1 希望に合った施設をお選びします。
2 施設への連絡や見学予約、日程調整も。
3 施設見学にも同行します。
※ご希望や状況によりご相談

ウチシルベなら
入居まで無料でお手伝い。
高齢者の住宅・老人ホームをお探しなら
ウチシルベ松山
高齢者住宅仲介センター
フリーコール0120-951-705
松山市中村2丁目1-3
三福住まいの体感プラザ内

家族支援フォーラム
地域生活支援センター
夢ポケット
公式ホームページ
〒791-8012 松山市姫原2丁目3-21　089（924）8989

MOVE YOUR HEART!
服部製紙株式会社
HATTORI PAPER MFG. Co.,Ltd.
〒799-0112　愛媛県四国中央市金生町山田井171－1
TEL0896-58-3005　FAX0896-58-3306
http://www.hattoripaper.co.jp

ENEOS
ENEOS 株式会社特約店
～灯油・軽油・A 重油の配達もお任せください～
日興石油株式会社

本社 中の川SS	松山市湊町4丁目1番地2	089(931)3221
三番町SS	松山市三番町6丁目4－17	089(941)7685
カーフォート かもがわSS	松山市鴨川2丁目17－1	089(978)1616
和気SS	松山市和気町1丁目473－1	089(979)2044
配送センター	松山市空港通4丁目3－39	089(972)1002

ハト飛来防止用忌避剤
「ハートジェル」販売・施工代理店
株式会社トータル・ビル・サービス
松山市松前町 2 丁目 8 － 3
TEL 089-946-3255
ハト飛来防止用忌避剤
ハートジェル
Pigeon Evasion Jell
HATO JELL
ハトの被害に頭を抱えていませんか？「ハートジェル」はハトの習性を研究して完成した、ハトを傷つけずに追い払う特殊ジェルの忌避剤です。テスト施工無料。
※器具やネット等の取り付けと違い、建物の美観を損ないません。
※効果は 1 年以上持続し、添付面を汚染することもありません。
お気軽にお問い合わせください。

環境と未来を考えるシステムの包装商社
株式会社 パステムマツザワ

本社	〒791-8507	松山市久万ノ台695番地1	TEL 089－925－7811
中央市場営業所	〒791-8016	松山市久万ノ台348番地1	TEL 089－924－3380
宇和営業所	〒797-0045	愛媛県西予市宇和町坂戸542-4	TEL 0894－62－8980
新居浜営業所	〒792-0872	新居浜市垣生3丁目310－11	TEL 0897－67－1788
広島営業所	〒733-0804	広島市西区山手町17－3	TEL 082－235－1003
高知営業所	〒780-8040	高知市神田971－1	TEL 088－833－3433
徳島営業所	〒771-0204	徳島県板野郡北島町鯛浜字川久保200－1	TEL 088－698－1585
香川営業所	〒761-2403	丸亀市綾歌町岡田西1081番地18	TEL 0877－35－7010
バックマート久万ノ台店	〒791-8016	松山市久万ノ台684－1	TEL 089－924－2475

和洋菓子製造
株式会社 世起
愛媛県伊予郡松前町北川原 1240-1
TEL089-984-6658

よりよいくらしの想いをかたちに
共同購入・宅配・店舗・福祉・共済・旅行・プレイガイド
コープえひめ
本部/松山市朝生田町 3-1-12
TEL (089) 931-5201
http://www.coopehime.or.jp

あったかい味
お届けします
株式会社 ナカ フードサービス
NAKA FOOD SERVICE
松山市大可賀2丁目2-12　☎952-1156